**様式２**

令和７年度肉用牛改良情報活用協議会畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進に係る肉用牛・多様な改良情報の収集・分析及び肉用牛の出荷時期早期化等対策のうち肉用牛の出荷時期早期化対策）計画書

応募団体（取組主体）：

１　事業の概要

どういう場所で（所在地等）、どういう事業目的、事業内容で計画しているのかを簡潔に記載。

２　事業の必要性

　　　事業を実施する地域における課題及び解決のための取組みの新規性・先導性・優位性等について具体的に記載。

３　事業の効率性

　　　効率的な事業執行のための事業計画の工夫や執行体制等について具体的に記載。

４　事業の有効性

事業の実施によってもたらされる効果及び普及のための取組み等について具体的に記載。

５　成果目標（事業実施後の効果）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 成果の具体的な内容 | 成果目標値（平均出荷月齢の早期化） | | |
| （例：平均出荷月齢の早期化） | 直近(令和６年度末) | 効果(令和８年度末) |  |
|  |  | ％ |
| 評価年度並びに成果の検証方法（直近値及び効果設定値の算出方法等） | | | |
| （※客観的な手法（方法により検証ができることを原則とする。） | | | |

（注）本欄には、取組主体自らが行う評価の内容等を記載すること。　　　　　　　なお、成果目標値の評価は、事業実施年度の翌年度として設定するものとする。

６　事業の内容

（１）総括表　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業の内容 | 事業費 | 補助額 | 備考 |
| ア　肉用牛の出荷時期早期化対策  （ア）肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器の導入  （イ）肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器の活用技術研修会開催 |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |

※積算内訳は様式３号に記載。

（２）事業の内容及び計画

ア　肉用牛の出荷時期早期化対策

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 事業の内容及び計画 |
| （ア）肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器の導入  （イ）肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器の活用技術研修会開催 |  |

７　事業の推進実施体制図

|  |
| --- |
|  |

　（注）本事業の取組主体や関係者の位置づけを模式図等により明確に記載すること。

８ 添付資料

（１）位置図

応募団体の位置。

（２）事業概要図

事業概要等の計画を説明するポンチ絵。

（３）肉用牛の出荷時期早期化対策のために導入する機器に関する資料

　　　　生体肉質診断機器（超音波診断機器）等に係るカタログ等。

（４）その他

事業計画の説明及び審査の観点に資する資料。